



上／指揮者体験コーナーではプロの楽団員を相手にタクトを振りました  
左／来春統合する3校の生徒が初めて集ったコンサート。津谷川小児童はオーケストラに合わせ校歌を高らかに合唱

## 生演奏の迫力を肌で感じ

山形交響楽団によるスクールコンサートは7月3日、津谷川小学校体育館で催されました。

東北電力が公募制で開催している同コンサートには東北6県と新潟県内の422校から応募があり、今年度は同校を含む25校で開催。同校児童や保護者、地域住民をはじめ釘子小と上折壁小の児童の約170人が、オーケストラ演奏を楽しみました。ロッシーニの歌劇「ウィリアム・テル」序曲など、楽しみながらクラシック音楽に親しめる8曲が披露されたほか、指揮者体験コーナーでは、各学校から一人ずつが指揮を体験。津谷川小の校歌も演奏され、一緒に合唱した児童らは生演奏の迫力を間近に感じていました。

室根地域では少子化に対応し、21年4月から小学校5校を2校に再編(折壁小と浜横沢小、上折壁小・釘子小・津谷川小がそれぞれ統合)する予定で、鑑賞した3校の児童らは来年春の開校に先がけて、交流を図る機会にもなりました。



心を静め座禅に集中する子どもたち

## 座禅体験で忍耐力を養う

川崎公民館主催の川の楽校「寺子屋体験！」は6月28、29の両日、門崎の常堅寺で行われました。参加した地元の小学生32人は、後藤泰彦住職から手の合わせ方や足の組み方、姿勢の調べ方など指導を受け、慣れない姿勢に悪戦苦闘しながらも、鐘の合図とともにぴんと背を伸ばし、20分間の座禅に真剣に取り組みました。

菅原笑さん(薄衣小6年)は、「最初、20分と聞いて大変と思ったが、心配したほどでなかった」と話し、初めての体験に満足した様子でした。



タラ先生(右から2人目)に英語であいさつする児童(左)

## 英語であいさつできたよ

日本フルブライトメモリアル基金により160人の米国人教師が来日し、そのうち16人が6月16日から23日、本市を訪れました。

一行は20日、萩荘小学校(沼倉祐子校長、児童438人)で、各クラスの授業を見学。2年1組にはコロラド州で小学校の教師をしているタラ・ゴイケさんが訪れました。おみやげのキャンディーをタラさんから手渡された児童らは、事前に練習した英語で一生懸命にあいさつ。タラさんは「子どもたちの歓迎の気持ちが伝わってとてもうれしい」と話していました。